

屋台酒・ひとり酒・未練酒

あんな女のひとりやふたり
欲しけりゃやるぜ熨斗つけて
口じゃ強がり言いながら
肩が泣いてる屋台酒

忘れるためのはしご酒
飲めば飲むほど思い出す
寂しいもんかと言いながら
肩が寂しいひとり酒

殺したいほど憎らしい
あんな女がどうなると
知っちゃいねえと言いながら
肩が揺れてる未練酒